

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 香川県立高松桜井高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒761-8076
香川県高松市多肥上町1250番地

E-mail : takamatsusakuraiko@pref.kagawa.lg.jp

Website : http://www.kagawa-edu.jp/sakrah02/index.html/

児童生徒数：男子 411名 女子 429名 合計 840名
 児童・生徒の年齢 16歳～18歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①学 年 : 全学年

②形 態 : 教科活動…E S Dに関連した学習
 特別活動…ヒートアイランド現象調査
 環境委員の活動
 地域との連携活動

③活動内容 (外部団体との連携などを含む)

時期	内 容	対 象
4月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
5月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
6月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
7月	節電・節水活動 中庭整備活動 ヒートアイランド現象調査 (地元企業とも連携) 災害時ボランティアリーダー養成 講習会参加	全校生徒・教職員 生徒会・希望生徒 全校生徒・教職員 希望生徒
8月		
9月	ヒートアイランド現象調査結果 文化祭での発表 CO2CO2削減コンテスト参加 節電・節水活動	教職員 全校生徒・教職員 全校生徒・教職員
10月	節電・節水活動 CO2CO2削減コンテスト参加 中庭整備活動	全校生徒・教職員 全校生徒・教職員 生徒会・希望生徒
11月	節電・節水活動 CO2CO2削減コンテスト参加 地域一斉清掃参加(地域との連携) 四国ブロック・ユネスコ活動研究会 における活動報告	全校生徒・教職員 全校生徒・教職員 希望生徒 担当教職員
12月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
1月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
2月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
3月	節電・節水活動 中庭整備活動 地域一斉清掃参加(地域との連携) 高松ユネスコ協会 創立40周年 記念事業におけるユネスコス クール事例発表	全校生徒・教職員 生徒会・希望生徒 希望生徒 生徒会・担当教職員

* 校内放送 (定期)

* 地域と連携した各種ボランティア活動 (随時)

④各活動の概要

○ヒートアイランド現象調査（意識を高める）

全校生徒・教職員による「ヒートアイランド現象調査」は、生徒は自宅で教職員は測定が不十分な地点で、同日、同時刻に一斉に気温を測定、それらを地図上に落とし、自分たちが住んでいる地域で、ヒートアイランド現象が見られるかを調査する参加型の調査である。調査にあたっては地元企業と連携している。本調査にあたっては、事前に器差補正や予備調査を行い、可能な限り正確なデータが取れるようにしている。得られたデータは解説をつけて、ホームページや文化祭等で発表している。ESDにおける環境教育では生徒の主体的参加とそれを通じた行動変容が求められている。そのため、本調査は環境問題に対する意識を高めていくことを目的とし、調査の結果よりも過程を重視して行っている。

○節電・節水活動／中庭整備活動（意識から行動へ）

環境委員を中心に、校内放送等を通して全校生徒・教職員による節電・節水活動に取り組んでいる。移動教室の際の消灯を確実にしたりするなど具体的に行っていた。例年参加しているCO2CO2削減コンテスト（香川県地球温暖化防止活動推進センター主催）参加期間（平成28年9～11月）にも参加した。また、「中庭環境整備活動（池清掃活動）」などにも生徒たちが自主的に取り組んでいる。

○地域と連携した活動（学校から家庭・地域へ）

環境問題に対する取り組みを学校の中だけに終わらせず、家庭・地域へと広げるため、生徒たちが地域で活動できる機会を設けている。地域一斉清掃への参加などである。環境活動に関する地域との連携に加え、ESDで必要とされる「自ら主体的に学び、考え、行動する」生徒の育成、また、「共に生きること」を学ぶという観点からも、地域のコミュニティーセンターや保育所、小学校、高齢者福祉施設等と連携したボランティア活動も行っている。

○防災に関することでは、文部科学省、県教育委員会主催の高校生を対象としたボランティアリーダー養成研修会に生徒2名が参加し、「訓練システムの体験」、「ロープワークの体験」等を通して災害時にリーダーとして必要な技能等の習得に努めた。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）